



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本橋梁株式会社

コード番号 5912 URL <http://www.nihon-kvorvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂下 清信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループリーダー (氏名) 川岡 靖司

TEL 078-941-4027

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,932	—	△152	—	△206	—	15,359	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 15,360百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	130.02	125.39
23年3月期第3四半期	—	—

平成24年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	—	%
24年3月期第3四半期	47,456	—	16,653	—	—	35.1
23年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,653百万円 23年3月期 一百万円

平成24年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,670	—	160	—	50	—	14,360	—	121.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3社 (社名) オリエンタル白石株式会社、株式会社
タイコー技建、株式会社白石ホームズ、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	118,152,293 株	23年3月期	118,152,293 株
24年3月期3Q	17,195 株	23年3月期	17,114 株
24年3月期3Q	118,135,134 株	23年3月期3Q	85,642,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年12月26日に、オリエンタル白石株式会社の株式を取得し、子会社化したことにより、オリエンタル白石株式会社並びに同社の子会社である株式会社タイコー技建及び株式会社白石ホームズの3社は当社の連結子会社になりました。これにより、平成24年3月期第3四半期決算より連結決算へ移行しました。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年同四半期等との比較は行っておりません。なお、当第3四半期連結累計期間の末日をみなし取得日としているため、連結子会社の受注及び販売の実績は含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響で経済活動が停滞する中、サプライチェーンの回復等により個人消費等に持ち直しの動きはみられるものの、欧州の財政不安や円高の長期化により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

公共投資関連の市場におきましては、東日本大震災の復興に関する需要の増加も見込まれますが、現時点では不透明であります。また、公共事業の見直しや公共事業費の削減は今後進むと見られ、一段と厳しさを増しております。当社がその大半を依存しております橋梁業界におきましても、多数の企業で受注を競い合う非常に厳しい状況が続いております。

このような状況におきまして、当社は、当第3四半期連結会計期間の発注に対応するため全社をあげて受注活動に取り組み、国土交通省関東地方整備局「H23・24圏央道下大崎地区高架橋上部工事」などを受注し、当第3四半期連結累計期間の受注高としましては39億8千5百万円となりました。売上高につきましては39億3千2百万円となり、受注残高につきましては60億7千4百万円となりました。

損益面では、既存工事のコスト削減活動の効果等もみられましたが、売上総利益は1億6千1百万円となりました。また、様々な経費圧縮策を実行し販売費及び一般管理費の削減の継続に努めましたが、営業損失は1億5千2百万円、経常損失は2億6百万円となりました。なお、オリエンタル白石株式会社の株式取得に伴い、負ののれん発生益156億7千1百万円を特別利益に計上した結果、四半期純利益は153億5千9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は474億5千6百万円となりました。

流動資産は391億1千5百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が235億1千5百万円、受取手形及び売掛金が128億4千3百万円であります。

固定資産は83億4千万円となりました。主な内訳は、土地が45億7百万円、建物及び構築物が19億1千8百万円であります。

流動負債は231億3千9百万円となりました。主な内訳は、未払金が77億6千9百万円、短期借入金が64億9千9百万円であります。

固定負債は76億6千2百万円となりました。主な内訳は、退職給付引当金が40億7千2百万円であります。

純資産は、166億5千3百万円となり、自己資本比率は35.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成23年11月11日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日公表の「特別利益(負ののれん発生益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成23年12月26日オリエンタル白石株式会社の株式（発行済株式数の100%）を取得しております。
これに伴い、オリエンタル白石株式会社が子会社となり、同社の子会社である株式会社タイコー技建及び株式会社白石ホームズの3社を当第3四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		23,515,102
受取手形及び売掛金		12,843,989
仕掛品		1,109,031
原材料及び貯蔵品		108,574
繰延税金資産		51,626
その他		1,632,446
貸倒引当金		△144,987
流動資産合計		39,115,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)		1,918,003
機械及び装置(純額)		949,426
土地		4,507,411
その他(純額)		62,695
有形固定資産合計		7,437,535
無形固定資産		
無形固定資産合計		40,487
投資その他の資産		
投資有価証券		590,281
破産更生債権等		1,089,836
その他		390,277
貸倒引当金		△1,207,665
投資その他の資産合計		862,729
固定資産合計		8,340,753
資産合計		47,456,536

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,209,870
短期借入金	6,499,169
1年内返済予定の長期借入金	2,086,450
未払金	7,769,597
未払法人税等	1,191,451
前受金	1,325,190
賞与引当金	20,103
工事損失引当金	1,383,374
完成工事補償引当金	96,212
その他	1,558,499
流動負債合計	23,139,918
固定負債	
長期借入金	1,494,000
繰延税金負債	313,640
退職給付引当金	4,072,037
訴訟損失引当金	1,712,376
その他	70,746
固定負債合計	7,662,800
負債合計	30,802,719
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000,000
資本剰余金	453,957
利益剰余金	15,206,642
自己株式	△6,483
株主資本合計	16,654,117
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△300
その他の包括利益累計額合計	△300
純資産合計	16,653,817
負債純資産合計	47,456,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,932,395
売上原価	3,771,296
売上総利益	161,099
販売費及び一般管理費	
役員報酬	22,218
従業員給料及び賞与	110,460
法定福利及び厚生費	25,901
不動産賃借料	19,196
旅費交通費及び通信費	30,828
その他	105,066
販売費及び一般管理費合計	313,672
営業損失(△)	△152,573
営業外収益	
助成金収入	7,196
その他	4,971
営業外収益合計	12,167
営業外費用	
支払利息	64,080
その他	1,848
営業外費用合計	65,928
経常損失(△)	△206,333
特別利益	
投資有価証券清算分配益	21,429
負のれん発生益	15,671,262
特別利益合計	15,692,692
特別損失	
固定資産処分損	1,044
投資有価証券評価損	860
損害賠償損失	8,419
融資手数料	104,000
特別損失合計	114,324
税金等調整前四半期純利益	15,372,034
法人税、住民税及び事業税	12,135
少数株主損益調整前四半期純利益	15,359,898
四半期純利益	15,359,898

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,359,898
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	200
その他の包括利益合計	200
四半期包括利益	15,360,098
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	15,360,098
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間(自 平成 23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社は、事業を鋼構造物事業（橋梁）に集中させており、単一セグメントとなっております。また、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、当第3四半期連結累計期間の末日をみなし取得日としているため、連結子会社の売上高及び利益又は損失の金額は四半期連結損益計算書に含めておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社は、事業を鋼構造物事業（橋梁）に集中させており、単一セグメントとなっております。また、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、当第3四半期連結累計期間の末日をみなし取得日としているため、連結子会社の利益又は損益の金額は四半期連結損益計算書に含めておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

株式会社オリエンタル白石の株式を取得したことにより、負ののれん発生益が生じております。負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において156億7千1百万円であります。

なお、この負ののれん発生益は、特定の報告セグメントに係るものではないため、全社の利益として認識しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、オリエンタル白石株式会社の株式（発行済株式数の100%）を取得したことにより、四半期連結財務諸表を作成しているため、株主資本に著しい変動が生じております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（個別）

① 売上高

セグメント	前年同四半期 (平成23年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成24年3月期 第3四半期)	増 減		前期 (平成23年3月期)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業（橋梁）	4,036	3,932	△ 104	△ 2.6	5,549
合 計	4,036	3,932	△ 104	△ 2.6	5,549

② 受注高

セグメント	前年同四半期 (平成23年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成24年3月期 第3四半期)	増 減		前期 (平成23年3月期)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業（橋梁）	3,314	3,985	670	20.2	4,453
合 計	3,314	3,985	670	20.2	4,453

③ 受注残高

セグメント	前年同四半期 (平成23年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成24年3月期 第3四半期)	増 減		前期末 (平成23年3月期)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業（橋梁）	6,395	6,074	△ 320	△ 5.0	6,022
合 計	6,395	6,074	△ 320	△ 5.0	6,022

(注)消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。
また、上記金額は単位未満を切り捨てて表示しております。